



報道発表資料

令和 6 年 8 月 2 2 日

令和 6 年度富津市一般会計補正予算（第 3 号）案

孤立集落災害対策事業、道の駅の整備に向けた適地調査等業務、自転車乗車用ヘルメットの購入補助、市道及び河川の災害復旧工事などに係る経費を計上します。

1 孤立集落災害対策事業 19,602 千円（防災安全課）

- ・ 保存食セット 11,880 千円
- ・ 発電機 7,722 千円

石川県の能登半島地震では、道路の寸断等で孤立した集落が多く発生し、救助や物資供給等の公助が一定期間行き届かない事態が生じた。

千葉県も石川県と同様に半島性を有していることから、同様の事態が想定されるため、本市においても、県補助事業[補助率：1/2]を活用し、令和 8 年度までの 3 年間で災害時における孤立集落対策に取り組む。

[事業内容]

本市南部に位置する天羽地区を中心に、地域へのアクセス道路が土砂災害警戒区域に指定されている場合などの孤立可能性集落に対し、保存食の備蓄のほか、緊急時の避難所として想定される地区集会所へ発電機を整備する。

- ・ 保存食セット（食料、飲料水） 1 人あたり 3 日分
 $5,500 \text{ 円} \times 20 \text{ 世帯} \times 3 \text{ 人} \times 36 \text{ 集落} = 11,880,000 \text{ 円}$
- ・ 発 電 機 1 集会所に 1 台
 $233,970 \text{ 円} \times 1 \text{ 台} \times 33 \text{ 集会所} = 7,721,010 \text{ 円}$

※ 今後、避難所におけるトイレの洋式化などの施設整備、また、倒木により、交通、電力供給、通信網などのライフラインに影響を及ぼしかねない樹木の伐採など、必要な対策を引き続き検討し、市民の安全確保を図っていく。

2 道の駅整備検討事業 9,900 千円（政策推進課）

- ・適地調査等業務委託料 9,900 千円

令和 6 年 2 月に道の駅基本方針を策定し、地域活性化の拠点として、本市の魅力を地域内外の人に伝える「にぎわいの場」を創出するとともに、災害時における防災拠点として、利用者等の安心・安全を確保するため、道の駅の整備を検討しているところである。

適地調査等により、候補地の選定や施設の概算規模を算定するほか、参考事例の調査、課題の整理等を行う。

3 交通安全対策費 1,170 千円（市民課）

- ・自転車乗車用ヘルメット着用促進事業補助金 1,170 千円

令和 5 年 4 月から自転車乗用時のヘルメット着用が努力義務化された。

本市においても、着用を促進するため、県補助事業[補助率：1/2]を活用し、ヘルメットの購入補助を実施することで、交通事故における被害の軽減を図る。

[事業内容]

市民のヘルメット購入費用に対し、2,000 円を限度に補助を行う。

(使用者 1 人につきヘルメット 1 個、1 回限り)

2,000 円×585 人=1,170,000 円

4 公共土木施設災害復旧事業 8,500 千円（建設課）

- ・災害復旧工事 8,500 千円

- ・市道大崩線（山中地先） 4,000,000 円

6 月の大雨の影響により路肩が崩落したことから、災害復旧工事を実施する。

- ・準用河川小久保川（小久保地先） 4,500,000 円

6 月の大雨の影響により護岸が崩落したことから、災害復旧工事を実施する。

令和 6 年度富津市一般会計補正予算（第 3 号）

補正額 49,137 千円 補正後の額 22,264,211 千円

議決予定日 令和 6 年 9 月 18 日

問い合わせ先

富津市総務部財政課 TEL：0439-80-1237